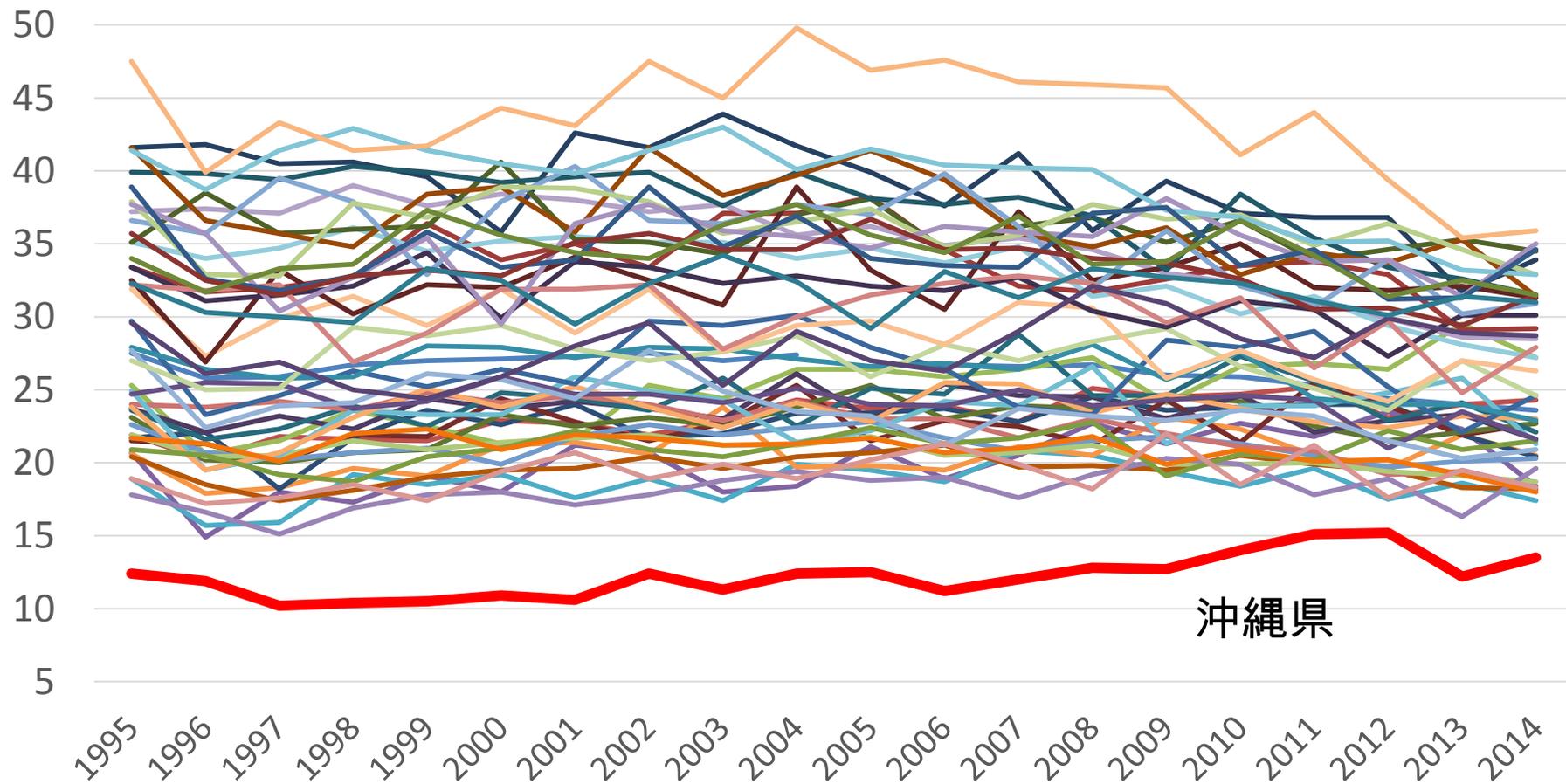


「第12回 地域肝炎治療コーディネーター教育セミナー」
平成28年9月8日 ホルトホール大分

沖縄県における肝疾患の疫学的特徴

琉球大学医学部附属病院
前城達次 新垣伸吾 圓若修一
仲松愛美

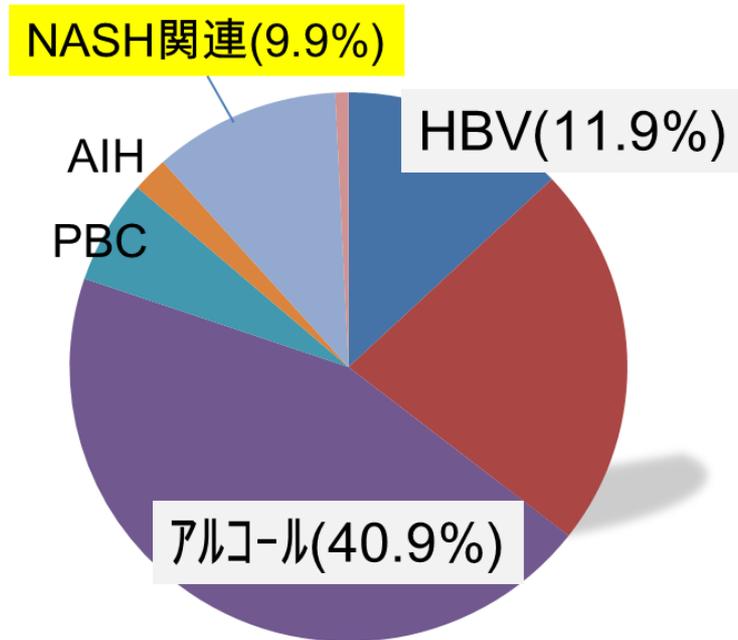
肝がん粗死亡率 (／10万人)



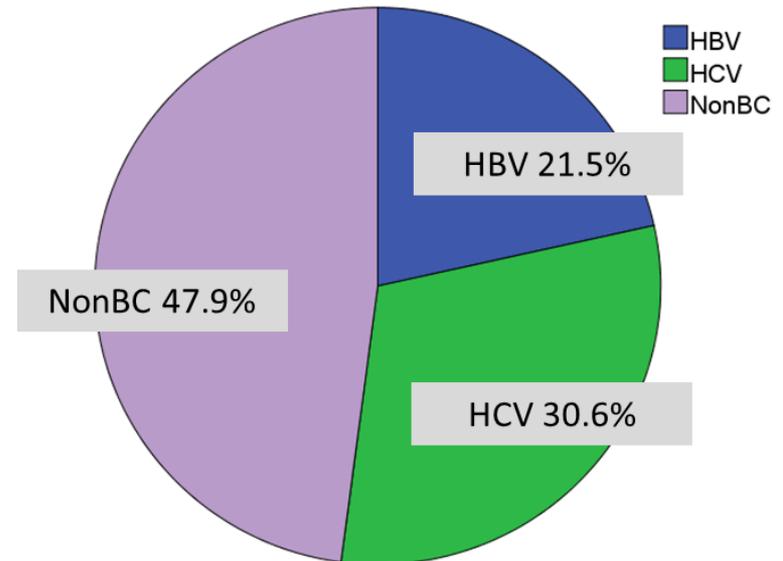
出典：2015年 総務省統計局

沖縄県における肝疾患の疫学的特徴

- ☑ アルコール性肝疾患が多い
- ☑ HBs抗原陽性率が高い
- ☑ HCV抗体陽性率は低い

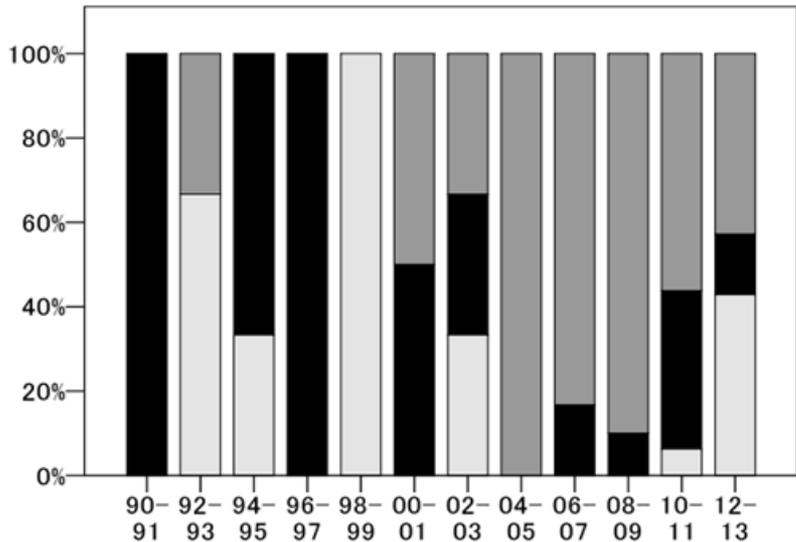
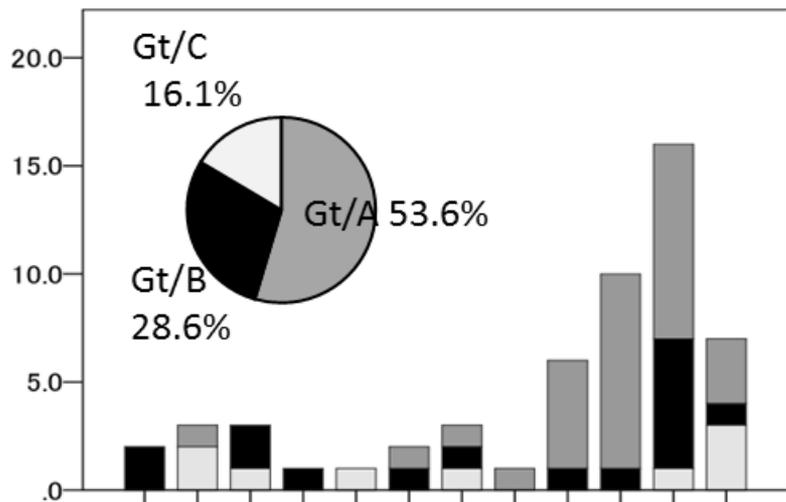


肝硬変の成因

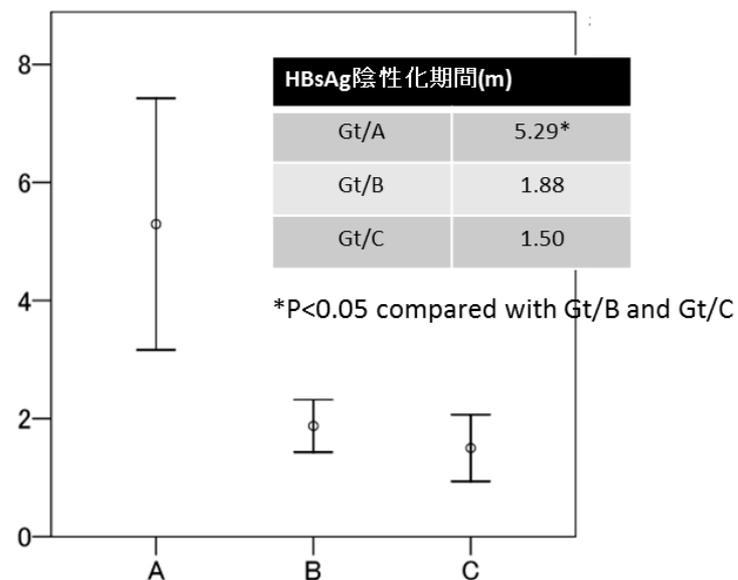


初発肝がんの基礎疾患

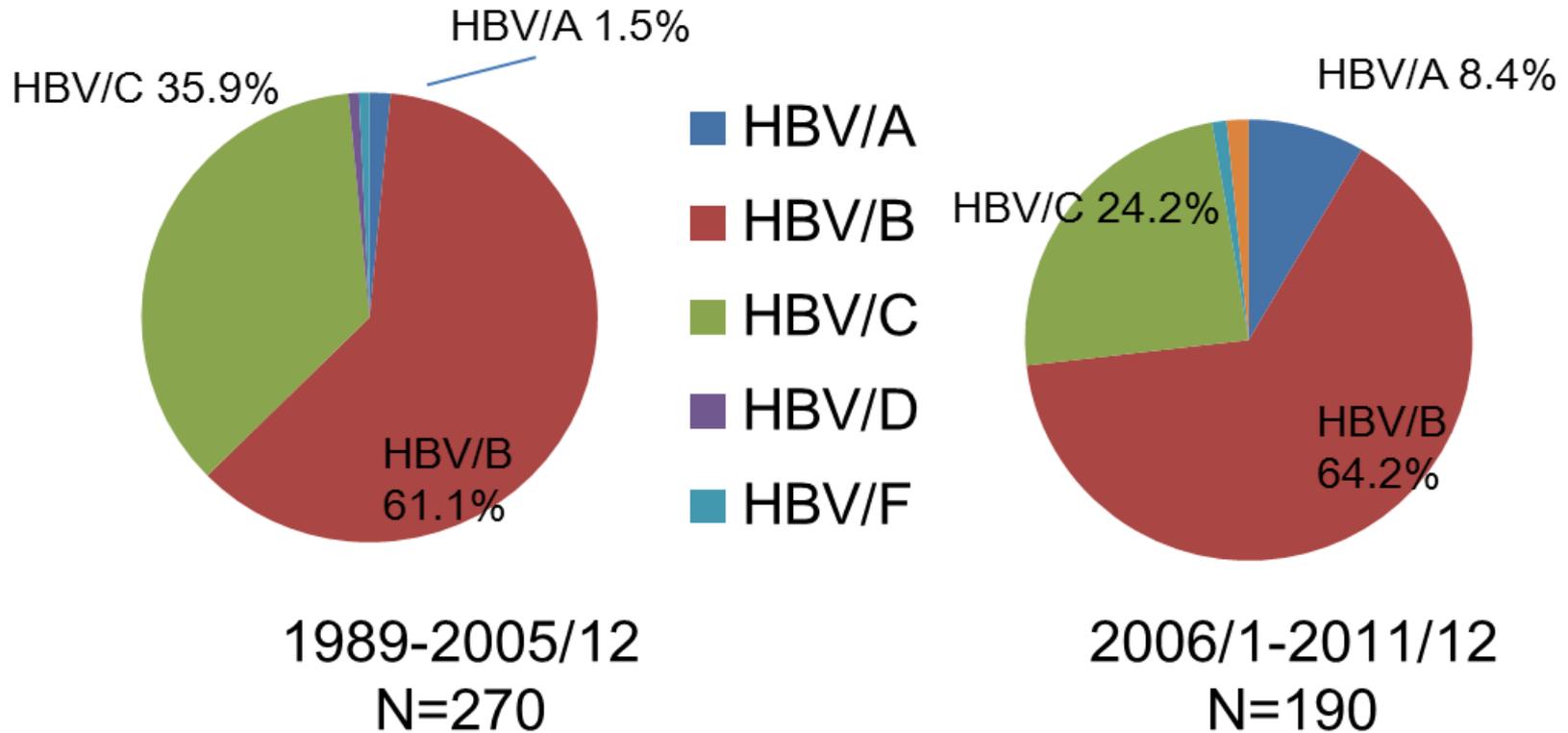
当院及び関連病院におけるB型急性肝炎例



	Gt/A	Gt/B	Gt/C
Age(yrs)	32.4±9.3	31.3±13.9	37.5±4.6
Gender(M/F)	30/0	8/8	7/2
Homo or Bisexual	13/30	0/16	0/9
HIV(+/-/ND)	5/22/3(16.7%)	0/9/7	0/4/5
HBeAg(+/-)	23/7*	5/11	4/5
T-Bil(mg/dl)	7.8±6.5	7.5±8.6	9.2±6.3
AST(IU/L)	1235.9±550.8	4678±8638.8*	2499±3251.7*
ALT(IU/L)	2385.6±1134	3435±3249.4*	2926.4±2314.2
PT%	75.3±16.2	63.1±40.1*	51.5±32.6*
HBV-DNA(LC/ml)	6.73±1.13	5.29±1.32	5.70±1.53



HBV持続感染者におけるgenotype



外国由来のHBVが増加している。
→もう一つ外国由来の感染症で問題なのは？

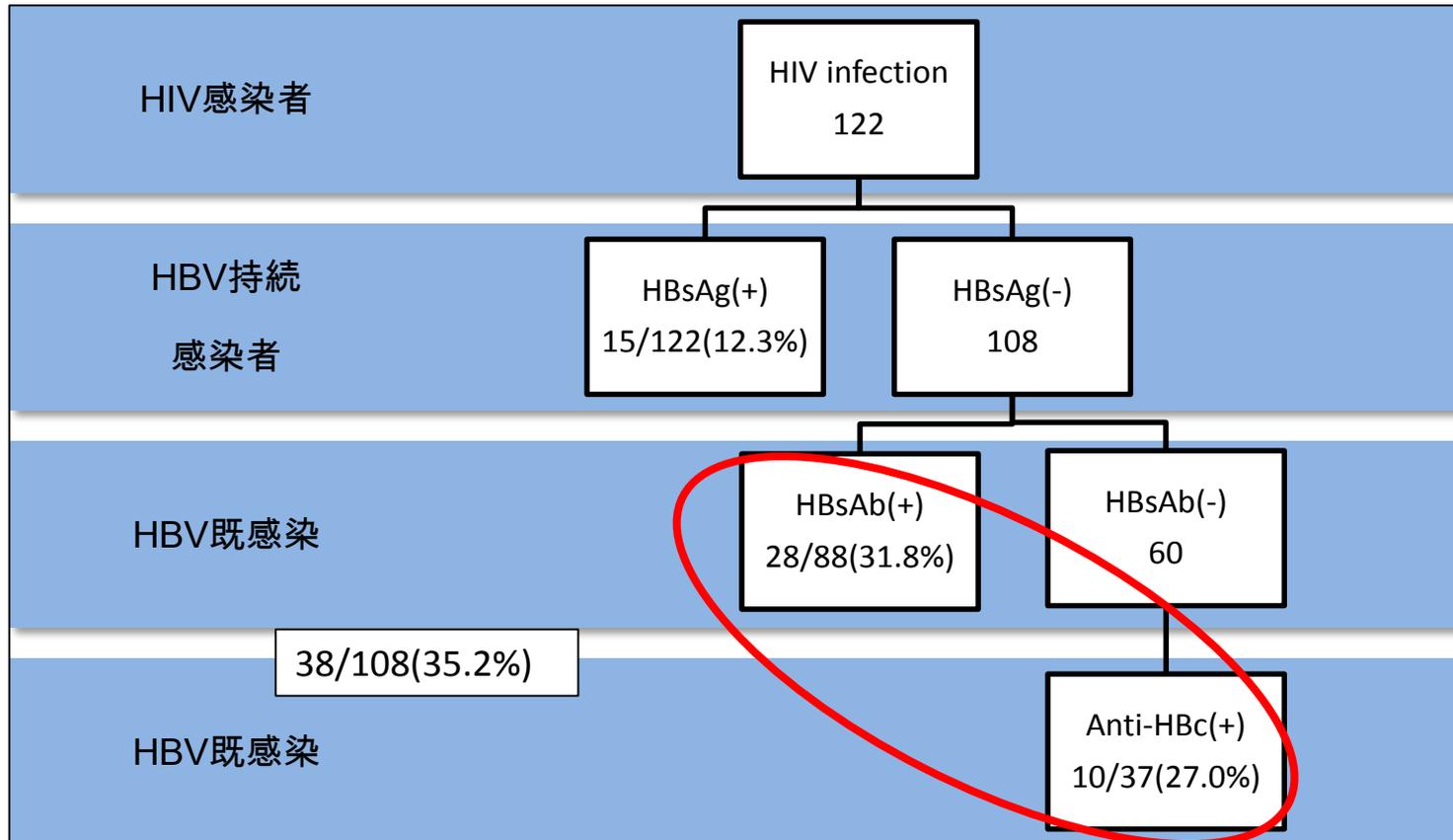
HBV持続感染者におけるGenotypeA症例

	A	Aa	Ae
ASC	0	2	4
CH	1	0	9
計	1	2	13

Ae	13
HIV (+)	9
HIV(-)	4

Age	Gender	HIV	Gt	stage	HBeAg
51	M		A	CH	-
70	M		Aa	ASC	-
58	M		Aa	ASC	-
41	M		Ae	ASC	-
24	F		Ae	ASC	-
29	M	HIV	Ae	ASC	-
31	M	HIV	Ae	ASC	+
25	M	HIV	Ae	CH	+
49	M	HIV	Ae	CH	-
28	M	HIV	Ae	CH	-
34	M	HIV	Ae	CH	+
28	M	HIV	Ae	CH	-
37	F		Ae	CH	+
33	M	HIV	Ae	CH	+
23	M	HIV	Ae	CH	-
45	M		Ae	CH	+

HIV感染者におけるHBV感染



HCV serotype

	Overall	Male	Female
Gender	238	124(52.1%)	114(47.9%)

Serotype	1	2	Others
Number	189	48	1
%	79.4	20.2	0.4

Genotype

Genotype	1a	1b	1a/1b	1b/2	2a	2b	SG1	SG2
Number	38	134	4	2	39	7	12	2
%	16.0	56.3	1.7	0.8	16.4	2.9	5.0	0.8

Serotype1型の中では21.35%

薬物事犯の検挙状況

薬物事犯による復帰後40年間の検挙総数は4,227件です。態様別では大麻取締法違反が1,963件(46%)、覚醒剤取締法違反が1,950件(46%)で、検挙総数のほとんどを占めています。沖縄県における薬物事犯は、1970年前後ごろベトナム帰りの米兵によって麻薬や大麻が持ち込まれ基地内で乱用事案が多く見られた。1972年から1983年までは、薬物事犯の大半は麻薬と大麻が占めていました。しかし1984年頃からは覚醒剤事犯が全体の半数以上を占めるようになっていきます。

沖縄県の覚醒剤事犯の特徴は乱用者層が暴力団構成員や風俗関係者のみならず一般市民(会社員、主婦、青少年)まで及んでいること、暴力団構成員が資金源として、島嶼県の沖縄は覚醒剤の中継地として利用されていることが特徴的。

資料9-8 薬物事犯検挙状況の推移 (S47~H23)

